

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	政策調整課		
------	-------	--	--

基本目標	5 みんなで“創る～ともに支える自立した行政経営～
施策	22 協働のまちづくり

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	協働のまちづくり活動の推進	住民活動コーディネーター派遣事業を実施し、問題解決を図り活動を支援する。 住民活動1日体験入門やNPO現地視察研修を通して、住民活動への理解を深め住民活動の活性化に向けた人材・団育成を行う。 まちづくり入門講座を全3回開催し、次世代のまちづくり人材を育成する。
2	まちづくりネットワークの推進	2市3町ふれあい協働フォーラムを開催し、2市3町の広域でのネットワークの構築を図る。
3		
4		
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値					
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度	
1 町民の意見の反映状況	町民意識調査で、「町民の意見がまちづくりに反映されているかどうか」の設問において、「よく反映されている」「まあまあ反映されている」と回答した割合 (%)	14.1 20.4	-	次回の中間見直し時(H34)にアンケート調査を実施の際、実績値を記入				
2 住民活動団体登録数	「扶桑町住民活動支援センター」への登録団体数 (団体)	37 52	49 ×					
3								
4								

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
若い世代の人が住民活動に携わる割合が少ないため、住民活動への参加を促す事業を計画する必要がある。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
住民活動に興味がある人向けに、年3回の連続講座として「まちづくり入門講座」を開催する。働いている人が参加しやすいよう平日の夜に開催し、まちづくりの先進事例や扶桑町の実例を踏まえ意見交換などを行い、住民活動の中心となる人材を発掘する。 2市3町ふれあい協働フォーラムを、12月14日(土)に扶桑文化会館で開催する。近隣の市町で活動している人と意見交換などを行い、住民活動の促進を促す。